

入選

今も心にのこっている親切

香川県 太田小学校

二年 宮尻 珠那

夏休み中の木よう日、わたしは、おしゅう字教室に行こうとしていました。教室の近くにある池のところまで行くと、気になるようすを見てしまいました。

「あれ、どうしたんだろう。」

4年生くらいの男の子が、池のふちで何かしています。よく見ると、その子は、じてん車のハンドルとサドルをにぎって、池からひっぱりあげようとしています。

「じてん車を池におとしてしまったんだ。これはたいへんだ！」

その子は、とてもこまっています。一人でやっていたら、その子まで池の中におちてしまうんじゃないかな。手つだいたいけれど、わたしの力ではむりだし。学校で先生に、「ぜったいに、子どもだけで池にちかづいてはいけません。」と言われているし。どうしよう。

「そうだ、おしゅう字の先生をよんできて、たすけてもらおう！」

と思いついたとき、女の人が走ってきました。

ようちえんくらいの子といっしょだけれど、その子をまたせて、

「だいじょうぶ。いっしょにやるよ。」

と男の子に声をかけ、じてん車をひっぱりはじめました。その女の人のおかげで、池からじてん車をひっぱりあげることができました。男の子は、

「ありがとうございました。」

と言って、池とはほんたいの道におちているにもつを前かごに入れました。

女の人は、ようちえんくらいの子をつれて、すぐちかくのマンションに入っていました。

おしゅう字教室につくまで、さっきのできごとや、たすけに来た女の人のことをいろいろ考えました。

はじめ、どうしようかまよったけれど、女の人が来てくれてよかったな。どこから来てくれたのかわからなかったけれど、あのマンションにすんでいる人なのだろうな。きっとマンション高いかいから池の方を見て、こまっている男の子を見つけたのだろうな。

だから、いそいでたすけに来てくれたのかな。やさしくて、親切で、いい人だなあ。ゆうきがあるってかっこいいなあ。

おしゅう字からかえっても、今もまだ、心にのこっています。わたしもいつか、あの女の人を見ならって、こまっている人がいたらゆう気を出して、親切にしていきたいです。今、心にのこっている気もちと、親切にした人のやさしさを、ずっとわすれないようにしていきたいです。

そのために、まわりをしっかりと見て、じぶんにできる親切をやっていきたいです。